

令和8年度 慈恩寺中学校 学校経営方針

1 学校教育目標

「自主・自立をめざす生徒」（自ら学び、正しく判断し、実行する生徒の育成）

2 目指す生徒像

- ・差別を許さない生徒 思いやりと正義感をもち、行動できる生徒
- ・進んで学習する生徒 自ら課題を見つけ、考え、真剣に学ぶ生徒
- ・心身ともに健康な生徒 心と体を鍛え、たくましく成長する生徒

3 目指す学校像 一努力夢現一自他の成長のために「努力」を重ねる生徒を育てる学校

生徒は、自主自立をめざし、日々努力を積み重ねています。さらなる成長に向けて、自ら考え、**進んで汗をかき**、**努力の量の拡大**と質の向上を図ります。そして、**成功体験**を重ねて**自己効力感**を高め、困難にも粘り強く取り組むことで、**学び続ける力**を育てます。教職員は、生徒一人ひとりの主体性を尊重し、成長の過程に寄り添いながら、ともに未来へ向かって伴走します。

4 経営方針

今年度は「新 iPad 元年」として、iPad 活用を全校で推進し、学びの質を高める。

(1) 経営スローガン「努力夢現」 キーワード：「挑戦」と「煌」を繰り返す

(2) 経営方針

- ① 生徒一人ひとりが夢をもち、目標に向かって努力する学校づくり
- ② 教職員のカウンセリングマインドと創意工夫による安心・安全な学校づくり
- ③ よき伝統と校風を継承・創造し、地域に根ざし誇れる特色ある学校づくり
- ④ 生徒が失敗を恐れず挑戦し、認め合い、煌く学校づくり
- ⑤ 信頼される誠実な教職員集団づくり

5 本年度指導の重点・努力点

- (1) 教科好き大作戦 (学ぶ楽しさと努力継続力の育成)
- (2) 愛情たっぷり大作戦 (安心とつながりの生徒支援)
- (3) おらが学校大作戦 (地域連携と誇りの醸成)
- (4) すぐやる課大作戦 (挑戦を支える土台づくり)
- (5) 和以為尊大作戦 (最高の授業と最高の生徒支援づくり)



6 学校研究課題 **新 iPad 元年** 一 触る・慣れる・使いこなす学校づくり

・令和7年度を踏襲し、授業づくりにおいて、各教科で「自分で学習を進める時間」「復習の時間」「学習を振り返る時間」の3つの時間を明確に位置付け、単元構成や授業構成を行う。

7 育てたい資質・能力 (カリマネデザインマップを活用した教科横断的な学び)

自主・自立 ① 差別を許さない力 ② 進んで学習する力 ③ 心身ともに健康な力

8 本年度指導の重点・努力点の具体策「10のアクション」

(1) **教科好き**大作戦 (学ぶ楽しさと努力継続力の育成)

【策1：魅力的な授業づくり × 自己効力感】教科主任担当

生徒は意欲的に授業に参加しているが、定着率に課題がある。

そこで、新生徒用 iPad や WORLD CLASSROOM (英) の活用も含め、単元を見通した授業を行い、教科好きを増やすとともに、単元チェックによる「やればできる」実感を高め、生徒の力を最大限伸ばす。

【策2：学習習慣の確立 × 努力継続力の育成】基G・進路担当

生徒は将来の夢をもち努力しているが、家庭学習や定期テストへの計画的取組に課題がある。そこで、公立入試変更を受け SCS や面談で目標の言語化と振り返りで可視化をする。さらに、スタディサプリや計画表で学習習慣を高め、継続して努力する自走力を育てる。

(2) **愛情たっぷり**大作戦 (安心とつながりの生徒支援)

【策3：主体参画 × 自己有用感 × 自己指導力】生徒会・生指担当

生徒は規範意識をもち生活しているが自主自立の途上にある。

そこで、80周年や校則見直し、自販機ルール、図書選定、学校運営協議会、学級・学校への参画を広げ自己有用感を育てる。さらにコーチング手法を生かし自らも考え行動する力をより一層伸ばしていく。

【策4：人権意識 × 人間関係スキル × SOS】人権・教相担当

生徒は人権意識をもち生活しているが、何気ない一言で相手を傷つけてしまう場面もある。そこで、年間を通して人権意識を高め、人間関係スキルを育て、共感的人間関係を築く取組を進める。また、困ったときにSOSを出せるよう、日頃から愛情たっぷり接し、安心して相談できる関係づくりを徹底する。

(3) **おらが学校**大作戦 (地域連携と誇りの醸成)

【策5：情報発信 × 地域とつながる授業づくり】教科・分掌担当

学校の情報発信や年12回の地域人材の活用は好評だが、保護者や学校運営協議会との連携や年間指導計画との結び付きが弱い面もある。そこで、カリマネデザインマップによる単元と連動し水泳授業の民間委託等、地域とつながる授業を広げ地域への誇りを育てる。

【策6：地域で実践 × 地域を担う力の育成】総合・学校CN担当

地域ボランティアは年26回・延べ260名が参加し活発であるが、授業における地域とのつながりは十分とは言えない。そこで、授業で「地球視点で地域を捉え、地域で実践する学び」を推進し、地域での実践を通して未来の地域を担う人材の育成を進める。

(4) **すぐやる課**大作戦 (健康と安全の土台づくり)

【策7：健康づくり × 個別支援】(養護・体育・部活)

生徒は生活習慣が概ね整っているが、体力づくりや個別の課題が見られる。

そこで、睡眠・朝食・体力づくりなどの健康づくりの取組や個別面談を充実させる。さらに、スマホの使用も含め、小中一貫の取組を模索し、支援を進める。

【策8：迅速な修繕 × 安全指導】(安・養・事・用)

生徒は安全・防災への意識が高まっているが、けがも見られる。

そこで、予算を効果的に活用し、点検と迅速な修繕を徹底して安全な環境を維持・発展させる。同時に、安全指導を継続的に行い、安心して挑戦できる学校づくりを進める。

(5) **和以為尊**大作戦 (iPad研修と風通しのよい職場づくり)

【策9：iPad研修の最優先化 × 進路指導の強化】基G・担当

教職員は研修により資質が向上しているが、将来の夢や希望に関する指導に課題があり、生徒用iPadへの習熟も必要である。そこで、キャリア教育、進路指導とiPad研修を年間通じて最優先で進める。

【策10：分掌の均衡化 × 風通しのよい職場づくり】教頭・衛生担当

教職員はチームとして協働しているが負担の均衡化や風通しをさらに進めたい。そこで、業務量管理・健康確保を踏まえ、3分類の徹底、人事配置や分掌再編、業務精選、風通しアンケートにより余裕を生みウェルビーイングな職場環境をつくり、学校力を高める。

9 目指す教師像

- (1) 教科を好きにさせる教師
- (2) 情熱で生徒を動かす教師
- (3) 新iPadで未来を描き、学びを創る教師
- (4) 愛情たっぷり支え、鍛える教師
- (5) 和以為尊の精神で協働し、学校を動かす教師

10 業務量改善に向けて (国、さいたま市立学校における働き方改革マスタープランより)